

人事委員会議事録（第1686回）

1 開催日時

令和4年6月14日（火）15:00～16:00

2 開催場所

兵庫県人事委員会 審理室

3 会議に出席した者

委員長	田中基康
委員	鈴木尉久
委員	長尾真
事務局職員	古川卓哉
任用課長	西谷智子
給与課長	井上博尊
任用課副課長兼給与課副課長	中原恵子

開 会

第1号議案

議事録の承認を求める件

人事委員会議事録（第1685回）について、審議の結果、原案どおり承認した。

第2号議案

特別枠採用試験最終合格者決定の件

任用課長が、標記試験の実施状況、合格基準及び合格発表日（6月15日）等を説明した後、同試験の合格者（案）を諮り、審議の結果、原案どおり決定した。

（委員）

筆記試験の順位は低いですが面接で好評価だったので合格した者が職場で順応できているのかの意見を聞いてみたい。

（事務局）

特別枠と通常枠で筆記試験の問題内容が異なっているため、特別枠で採用された職員が職務に必要な専門知識を有しているのかなどの検証が必要と考えている。

（委員）

広く専門知識を問うような問題内容であればよいが、単に県の計画や制度の知識を問うような問題にならないよう注意が必要である。

第3号議案

行政B（高卒程度）採用試験実施要綱決定の件

任用課長が標記要綱（案）を説明し、審議の結果、原案どおり決定した。

（委員）

高専や短大の卒業生も受験できるのか。

（事務局）

高専、短大ともに専攻科に進学していなければ受験可能である。

（委員）

採用予定数は昨年度と比べてどうか。

（事務局）

概ね同規模である。昨年度は全体で28名だったが今回は32名を募集予定である。

報告事項 1

行政 A（大卒程度）・資格免許職採用試験の申込状況

任用課長が、標記試験の申込状況を報告した。

（委員）

他府県と比較して兵庫県は減少幅が小さいとのことだが、申込者数をキープできた要因は何か。

（事務局）

減少している自治体もあれば、逆に申込者数が増加している府県もあり、一概には言えない。

（事務局）

他府県では筆記にSPIを導入している試験もあると聞いている。公務員試験対策をしなくても受験できるような試験形態が申込者数の増加につながっている側面があるのではないか。

報告事項 2

行政 B ガイダンスの実施

任用課長が、標記ガイダンスの実施について説明した。

（委員）

職種別説明を行う職員は行政 B 区分で採用された職員が行うのか。

（事務局）

そのとおりである。入庁 5～10 年目程度で若い年代の職員が自身の経験談等を話す。

（委員）

チラシの中で、実際に行政 B 区分で採用された職員の話が聞けることをもっとアピールしてはどうか。

（事務局）

いただいたご意見を踏まえてチラシの内容を修正する。

(委員)

入退室は自由にできるのか。全体説明を聞いただけで終了することはできるのか。

(事務局)

入退室は自由なので、全体説明を聞いただけで終了することも可能である。

報告事項 3

任命権者が行った処分

任用課長が、教育委員会及び警察本部長が行った4件の懲戒処分の内容及び理由を説明した。

(委員)

知事部局も、教育委員会や警察本部のように、懲戒処分の指針を作成し、公表すべきではないか。

閉 会